

# 令和6年度第2回函館中央警察署協議会議事概要

## 1 開催日時

令和6年9月25日（水）午後2時00分から午後3時40分まで

## 2 開催場所

函館方面函館中央警察署3階大会議室

## 3 出席者

### (1) 協議会委員 11名（定員13名）

会長	向井 妙子	副会長	檜 原 永都子
副会長	田名部 まり子	副委員長	高橋 哲郎
委員長	石橋 美栄子	委員長	小野 義則
委員	井上 邦彦	委員	阿部 真奈美
委員	川又 修治	委員	本谷 文子
委員	藤田 竜司		

### (2) 警察署 7名

署長	岡崎 健一	副署長	大橋 俊夫
刑事生活安全官	柏川 宗隆	交通官	大田 直哲
地域官	小竹 善郎	北斗交番所長	横田 哲
警務官	千 里 和 司		

## 4 函館中央警察署協議会会長挨拶

本年8月8日、宮崎県で震度6弱の揺れを観測する地震の発生に伴い、南海トラフ地震臨時情報が発表されました。

また、東北地方を横断した台風5号の影響で、岩手県では記録的な大雨となり、浸水や土砂災害により多数の家屋が倒壊し、地域住民が避難を余儀なくされました。

この夏は、全国的に自然災害が多発し、災害への備えの重要性を認識することとなりました。

本日の協議会を通じて、地域住民と警察が共通認識を持ち、住みよい街にするためにも忌憚のない意見を頂きたいと思っております。

## 5 函館中央警察署長挨拶

現在、秋の全国交通安全運動期間中であり、様々な啓発活動により交通安全意識を醸成しておりますが、先日、当署管内において普通乗用車と路線バスによる死亡事故が発生しました。

原因については捜査中ではありますが、いずれかの車両が反対車線にはみ出し正面衝突した事故となります。

一方の当事車両が普通乗用車のため、衝突の圧力がかからず、バスの乗客は軽傷で済んでいますが、事故状況は、昨年、八雲町で発生した高速バスとトラックの死亡事故と同様であり、重大事故に発展する可能性のある事故でありました。

本来的には安全・安心な町でなくてはならないのですが、いつどこで重大事故が発生してもおかしくない状況であるため、一人一人に交通ルールを守ってもらえるように活動していきます。

本日は、皆様から忌憚のないご意見をいただきたいと思っておりますのでよろしくお願いたします。

## 6 議事

- (1) 懲戒処分状況
- (2) 管内の治安概況の説明
- (3) 函館中央警察署のできごと
- (4) 議題  
災害について

## 7 委員からの要望・意見と警察の説明

- 委員 日本と海外では、地震発生後の避難所生活に差があるように感じる。  
日本では、体育館などの避難所を段ボールで仕切り生活しているが、本年4月に台湾で発生した大地震では、おしゃれなテントなどが並べられ、個人のプライバシーが守られるような生活を送っていた。  
障害者や幼児などの避難所生活は、周囲に気を遣うなどの理由から避けられ車両内で生活するという話しを聞いたことがあるが、避難後の生活について対策はないか。
- 警察 基本的に避難所の設置は自治体が対応することとなりますが、警察としては自治体と連携しながら、巡回連絡等を通じて避難所や仮設住宅を訪問し、住民の困りごとを聴取して、関係機関と情報共有を図っていきます。  
近年では、避難所等でのペットのトラブルもあり、要望を把握して対処していきます。
- 委員 これらの意見は自治体に生かされているか。
- 警察 予算の兼ね合いもあり、全ての住民が納得する避難所の設置は難しいと思われませんが、本年6月には、北斗市と七飯町で災害発生時の避難者の受け入れなどに関する協定を結んでいる事例もあることから、一時的ではなく、長期的な避難場所として確保しうる設備や協力関係の構築が重要であると考えます。
- 警察 本年7月の山形県の豪雨では、現場に向かっている警察官が流され殉職しています。  
住民の皆様には、危険が迫っているときには躊躇することなく速やかに避難するようお願いいたします。  
皆様の速やかな避難が住民と警察官の命を守ることに繋がります。
- 委員 先日、知人が拾った財布を交番に届けたところ、中に薬物が入っており、本人立ち会いの下、現場検証を実施したそうです。  
財布を拾った場所は、自宅の近くであり、近所の住民の目もあり恥ずかしい思いをしたと言っていた。
- 警察 パトカー内で拾った場所を指示させるなど配慮がほしいと思うがいかがか。  
事件化のためには、薬物が落ちていた状況の現場検証が必要な場合もありますが、本人の納得する十分な説明がなされていなかったことも考えられるため、相手の立場になったきめ細かな配慮をいたします。

## 8 警察署の機能強化に向けた再編整備計画（案）に対する意見・要望

- 委員 事案対処能力の向上も重要と思うが、身近なところに交番があり、見守られている安心感こそ、地域住民に必要なことと考える。  
不在交番に電話機のみが置かれている状況では、落とし物を届ける気にもならない。  
交番や駐在所の現状維持ではなく、交番内に設置されたモニターで警察官が来所者対応するなど温かい交番づくりが進めば、住民とのつながりは強くなると考えるがいかがか。
- 警察 再編整備の効果として、駐在所の不在を解消する点があります。  
今までですと、事件事故の発生時、駐在所の勤務員が警察署に応援に向かうことが多くなり、結果として不在期間が生じることに繋がります。  
今回、統合先警察署の人員が増強されることによって、駐在所勤務員の応援が減少し、不在を解消することとなります。  
前回の警察署再編整備の際は、対象となった自治体の住民の方々からは、「パトカーをよく見るようになった」という意見が多く寄せられました。これは、駐在所勤務員等が本来やるべきパトロール活動、巡回連絡などに専念できるようになった結果であります。  
函館市内の交番については、事件事故等の取扱いが多いため、警察官が不在となる時間が多いと思われまます。交番への映像モニターなどの導入については、貴重なご意見として頂戴いたします。
- 委員 事案対処能力の強化とあるが、統合先となる函館中央署の体制が強化されるという解釈でよろしいか。
- 警察 統合される警察署の全ての人員が統合される訳ではなく、統合されない人員については、全道的に影響のある事案に対処する専門部署への配置を考えております。

委員 例えば、知内町内で事件が発生した場合、今までですと木古内警察署で対応していたが、統合後は函館中央警察署で対応するということになりますが、その分、函館中央警察署の警察官が手薄になるということは想定されないか。

警察 初動対応は駐在所や木古内警察庁舎の勤務員で対応しますが、必要に応じて函館中央警察署から専門員を向かわせます。

函館中央警察署には、スケールメリットにより、管内の事件事故に即応できる人員を配置できる体制がありますので、問題は生じないと考えます。

9 次回の開催予定及び議事について

- (1) 次回開催予定  
令和6年12月中旬を予定
- (2) 次回議事  
令和6年の業務推進状況